

(記入例)

様式第4のホ (第4条、第5条関係)

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要	石油化学製品の開発・製造			
タンクの設置方法	タンク室	・ 直埋設	・ 漏れ防止	
タンクの種類	鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク 鋼製二重殻タンク・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク			
タンクの構造、設備	形状	横置円筒型	常圧・加圧 ( kPa)	
	寸法	胴長 12,857mm、内径 3,200mm 鏡出 620mm、全長 13,457mm	容量 100,000ℓ	
	材質、板厚	JIS 規格 SS400 軟鋼板製 胴板 9mm、鏡板 9mm		
	外面の保護	SF タンクの被覆 (KHK 試験確認済)		
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	SF タンク用漏洩検知設備 (KHK 試験確認済)		
	通気管	種別 無弁	数 2	内径又は作動圧 50 mm kPa
	安全装置	種別 なし	数	作動圧 kPa
	可燃性蒸気回収設備	有 ( ベーパーリカバリー )		無
液量表示装置	高精度液面計 (常時監視)	引火防止装置	有・無	
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	基礎はコンクリートでベタ打ち仕上げとし、鋼製タンクバンドにて基礎と固定します。			
注入口の位置	別添図面に示す	注入口付近の接地電極	有・無	
ポンプ設備の概要	別途隣接一般取扱所のポンプ設備			
配管	・地下埋設部 (原管 JIS G-3452・外面防食部 JIS G-3469) 注油管 80A・吸上管 100A・通気管 50A ・地上、露出部 (JIS G-3452) 通気管 50A、送油管 25A ・注油管、吸上管及び通気管の地下埋設接続部分は電気溶接接続とし、ペトロラタムテープ、防食用ビニールテープにて防食する。地上、露出部分は防食塗装をする。			
電気設備	危政令第9条第1項第17号の規定どおり施工する。			
消火設備	第5種消火設備 (〇〇消火器 10 型) 1 個、(機械泡消火器 6 型) 1 個			
工事請負者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇〇-〇 〇〇設備㈱ 〇〇 〇〇 電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 「直埋設」とは、地下貯蔵タンク (二重殻タンクを含む。) をタンク室以外の場所に設置する方法 (地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。) をいう。
- 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第 13 条第 2 項第 2 号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第 1 号ロに掲げる措置を講じたものをいう。